



お知らせ

記者発表資料	平成27年5月26日
配布日時	14:00

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ 鳥取県政記者会 島根県政記者会 岡山県政記者クラブ
 広島県政記者クラブ 山口県政記者会 山口県政記者クラブ
 山口県政滝町記者クラブ 中国地方建設記者クラブ

平成27年度都市景観大賞の都市空間部門『優秀賞』を 島根県出雲市の「しんもんどお神門通り地区」が受賞！！

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、景観法の制度活用に基づく良好な景観形成に向けた取組の普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年実施されている表彰制度です。

本制度により、景観に関する優れた地区・活動に対し、「大賞」（国土交通大臣賞）、「優秀賞」及び「特別賞」を授与し、さらなる取組の契機としていただくとともに、全国に広く紹介することにより、良好な景観の形成が進んでいくことを目的としています。

- 受賞地区 しんもんどお・神門通り地区（島根県出雲市）
- 受賞者
 - ・島根県
 - ・出雲市
 - ・しんもんどお神門通り よみがえ甦りの会



<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231（代表）（平日・昼間）

【担当】建政部 計画・建設産業課長 いわ岩 ふね船 しん真 や哉（内線 6121）
 建政部 計画・建設産業課長補佐 ふ風 ろ呂 よし美 たか孝（内線 6123）

【広報担当窓口】広報広聴対策官 ひら平 かわ川 まさ雅 ふみ文（内線 2117）
 企画部 環境調整官 た田 お尾 かす和 なり也（内線 3114）

神門通り地区（島根県出雲市）の都市空間部門「優秀賞」受賞について

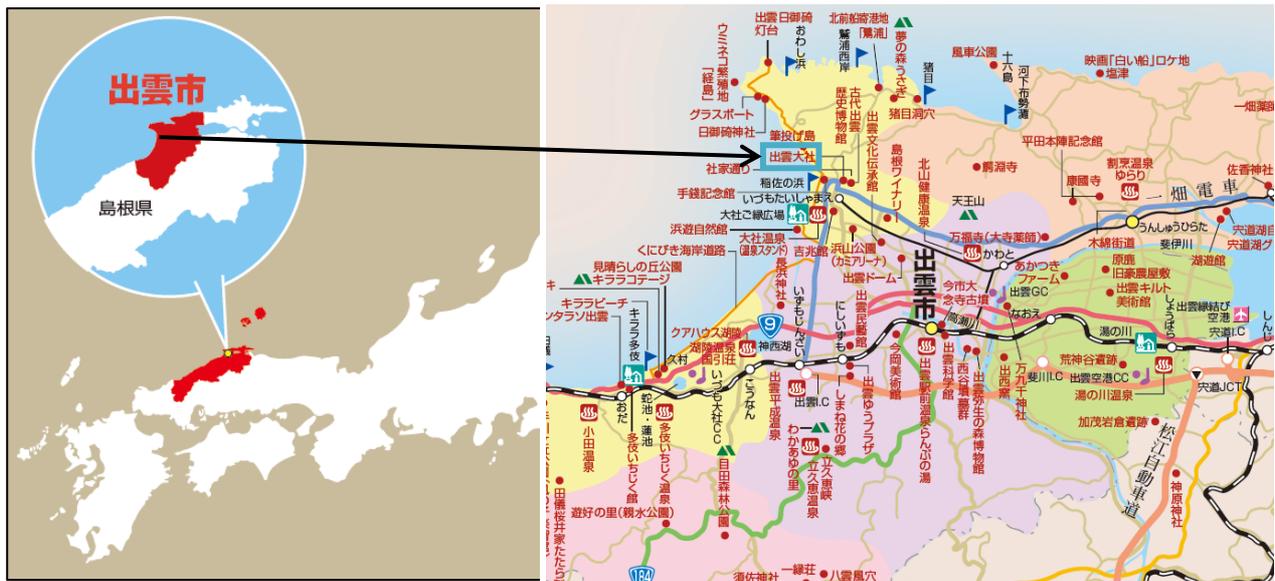
○「神門通り地区」は、景観に配慮した建て替え、街路整備によって、参道に賑わいを取り戻すのに成功した示唆に溢れる事例として、評価されました。

詳細につきましては、別紙「審査員講評」をご確認ください。

なお、「神門通り地区」の詳細については、出雲観光協会ホームページをご参照ください。

ホームページのリンク先は次のとおり→<http://www.izumo-kankou.gr.jp/2408>

○表彰地区の位置図



○参考資料

- ・別表1 平成27年度 都市景観大賞受賞地区及び団体の一覧（全国分）
- ・別表2 中国地方における過去の受賞履歴
- ・参考 平成27年度都市景観大賞募集要領

都市空間部門「優秀賞」

(別紙)

■地区名：神門通り地区

■面積：5.0 ha

■所在地：島根県出雲市

審査員講評

■応募者：島根県、出雲市、神門通り甦りの会

■地区の概要：

当地区は県内有数の観光地である出雲大社の参道と位置づけられ、明治43年の国鉄大社駅の開通とともに開設された通りである。開設に際し、名士により寄贈された大鳥居と松並木が今も変わらず通りを象徴する景観となっている。

沿道は開通以来、多くの参拝客が往来し、旅館や土産物屋が立ち並ぶ門前町として栄えてきたが、モータリゼーションの進展、平成3年のJR大社線の廃線の影響を受け、人通りは激減し、通りはかつての賑わいを失っていた。

地区の用途は、商業地域で、店舗、店舗併用住宅、戸建住宅が混在しており、通りの賑わいの衰退に伴い、空き店舗が目立ち、統一感の無い建物が立ち並んでいたが、遷宮を発端とした県の街路事業等を契機として、官民一体となった賑わい再生への取り組みが実施された。参道として風格ある通りとなるようデザインされた街路整備（道路の美装化、電線類地中化）、市による数十年後を見据えた沿道建築物修景の基準「神門通り地区まちづくり協定」の策定等に加え、地元団体による「通りの日除け暖簾設置」、「置き座」などヒューマンスケールによる景観形成への取り組みにより、通りの統一した景観形成と魅力向上が実現している。その結果、人の往来が甦り、新規出店が相次ぐと共に、通りの街並みも着実に変わりつつある。

■審査講評：

受賞対象は出雲大社参道のリニューアルである。これまでも歴みち事業などで神社参道を高品質に作り替える整備は各所で行われてきており、そういった前例などとの比較も今回の審査では気になるところであった。インジェクション工法と呼ばれる自然石の舗装仕上げの質は高くフラットな路面に仕上がっている。照明灯他立ち上がっているもののデザインも洗練されている。とこれらは見た目であるが、この事業の意味はその準備段階にあると言ってよい。徹底したシェアードスペースの考え方により歩道の幅員を広く確保し車道との仕切りは白い石で引かれたラインのみである。段差もなければボラードもない。ワークショップで徹底的に議論し実現させたとのことであるが、交通管理者との協議など通常はなかなか難しいものである。もう一つはそうやって確保した歩行者空間の使い方であり、特区制度を活用して、「置き座」と呼ばれる縁台などが路上に出され、観光客の休息の場と通りの賑わいが提供されている。実はこの参道、明治期に鉄道駅が作られたことによりできた参道であり沿道は歴史的な町並みという点ではさほど意味深くはない。沿道建物のコントロールの強制力は必ずしも強くはなく、沿道が道路に対応していくには今少し時間が必要との印象であった。（高見）



出雲大社勢溜りより南方の神門通りを望む。約100年前に開設にされた通りは、大鳥居と松並木が今も変わらず通りを象徴する景観となっており、石畳化と電線類地中化が通りの松並木を一層際立たせている。



沿道建築物修景事業により、徐々に統一感ある街並みが形成されつつある通り。街路整備に端を発して、新規出店が相次いでおり、通りは観光客であふれかえり、賑わいが復活している。



通りに植えられた松にちなみ松の葉をイメージさせる街路灯と、電線共同溝整備による架空線撤去によって開放感溢れる空間となった神門通りの夕暮れ。



賑わいを見せる神門通り

「都市空間部門」受賞地区一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

地区名	地区面積	応募者
きたさいと 北彩都あさひかわ地区 (北海道旭川市)	約 86.2 ha	・旭川市 ・北彩都あさひかわまちづくり推進会議
ジョンソントン地区 (埼玉県入間市)	約 2.5 ha	・株式会社磯野商会 ・渡辺治建築都市設計事務所
おおてまち まる うち ゆうらくちょう 大手町・丸の内・有楽町地区内、 まる うちなかどお えんどうがいく 丸の内仲通り沿道街区地区 (東京都千代田区)	約 3.9 ha	・千代田区 ・一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区 まちづくり協議会 ・特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント 協会 ・三菱地所株式会社

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	地区面積	応募者
さっぽろきた にし 札幌北2西4地区 (北海道札幌市)	約 1.5 ha	・札幌市 ・三井不動産株式会社 ・日本郵便株式会社 ・株式会社 日本設計
にほんまつしたけだねざまたけねどお えんどう 二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区 (福島県二本松市)	約 9.0 ha	・竹田根崎まちづくり振興会議 ・福島県 ・二本松市 ・早稲田大学都市計画研究室 ・芝浦工業大学地域デザイン研究室
いかほいしだんがい いしだん こうえん 伊香保石段街地区(石段アルウィン公園) (群馬県渋川市)	約 1.4 ha	・渋川市
しんもんどお 神門通り地区 (島根県出雲市)	約 5.0 ha	・島根県 ・出雲市 ・神門通り 甦りの会

「景観教育・普及啓発部門」受賞団体一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

活動名	活動エリア	応募者
地域の誇り&まちなみ育てプロジェクト ～ ^{めいのはま} 姪浜の宝を福岡市民の宝に!～	福岡県福岡市 唐津街道姪浜地区	・ ^{からつかいどうめいのはま} 唐津街道姪浜まちづくり協議会

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

活動名	活動エリア	応募者
「おたる案内人」ジュニア育成プログラム (小樽市立 ^{いろない} 色内小学校5,6年生の総合学習)	北海道小樽市 小樽市内及び近郊	・特定非営利活動法人 歴史文化研究所
住民がつくる我がまちの景観デザイン 「まちなみデザイン逗子」	神奈川県逗子市 逗子市内全域	・逗子ほととぎす隊景観部会 ・逗子市

「景観づくり活動部門」受賞取組一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

地区名	取組エリア	応募者
住民参画による景観まちづくり	宮城県松島町 景観重点地区	・松島町

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	取組エリア	応募者
建築緑化協定の活用によるまちなみ作り	北海道東川町 グリーンヴェレッジ・東川	・東川町 ・東川町土地開発公社
自然と歴史を受け継ぎ、暮らしの香り漂う生活空間の創造	愛知県豊田市 豊田市景観計画 足助景観重点地区	・ ^{あすけ} 足助まちづくり推進協議会
七尾市 ^{わくら} 和倉地区景観協定の締結と景観づくり	石川県七尾市 七尾市和倉地区	・七尾市 ^{わくら} 和倉地区景観協定運営委員会

「特別賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

地区名	取組エリア	応募者
花とおはなしできる北鴻巣すたいる	埼玉県鴻巣市 鴻巣市北鴻巣駅西口周辺とすみれ野中央公園 (すみれ野地区)	・特定非営利活動法人 エリアマネジメント 北鴻巣 ・株式会社サポート
市民力による京都の広告景観向上の取組	京都府京都市 京都市全域	・京都市

都市景観大賞 中国地方における過去の受賞履歴

(別表2)

「美しいまちなみ賞」

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成13年度	優秀賞	福山市 福山久松通り地区	・福山久松通商店街振興組合 ・広島県福山市 ・福山商工会議所
平成17年度	大 賞	倉吉市 打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会 ・鳥取県倉吉市
平成18年度	優秀賞	津和野町 環境保全地区	・津和野町まちづくり検討委員会 ・島根県津和野町
平成19年度	優秀賞	宇部市 中央町三丁目地区	・宇部中央地区再開発推進協議会 ・山口県宇部市
平成20年度	優秀賞	鳥取市 夢街道・鹿野往来城下町地区	・特定非営利法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 ・鳥取県鳥取市
平成21年度	大 賞	真庭市 勝山町並み保存地区	・かつやま町並み保存事業を応援する会 ・岡山県真庭市
平成22年度	大 賞	倉敷市 倉敷美観地区	・倉敷伝統地区をまもり育てる会 ・特定非営利活動法人倉敷町家トラスト ・岡山県倉敷市

「都市空間部門」

年 度	表彰内容	地 区 名	応 募 者
平成23年度	優秀賞	江津市域地区	・島根県江津市
平成23年度	優秀賞	浜崎地区	・浜崎しつちよる会 ・山口県萩市
平成24年度	大 賞	吹屋地区	・吹屋町並保存会 ・岡山県高梁市
平成25年度	大 賞	城下町長府地区	・城下町長府景観協議会 ・下関市

「景観教育・普及啓発部門」

年 度	表彰内容	活 動 名	応 募 者
平成25年度	大 賞	関門地区(北九州市・下関市)景観ウォッチング&セミナー	・公益社団法人福岡県建築士会 北九州地域会 ・山口県建築士会下関支部 ・関門景観協議会 (下関市・北九州市)

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則1～2地区
- ② 優秀賞 ……数地区
- ③ 特別賞 ……内容に応じ、適宜選定

3. 対象地区の要件

本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。

4. 応募者の資格

良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察）した上で、表彰地区を選定します。

6. 審査委員

委員長	陣内 秀信	法政大学教授
委員	池邊このみ	千葉大学教授
	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	岸井 隆幸	日本大学教授
	佐々木 葉	早稲田大学教授
	高見 公雄	法政大学教授
	田中 一雄	㈱GK インダストリアルデザイン代表取締役
	富田 泰行	トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長
	国土交通省	都市局市街地整備課長
	国土交通省	住宅局市街地建築課長

(順不同、敬称略、平成27年5月現在)

II. 景観教育・普及啓発部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観教育・普及啓発部門」は、景観まちづくり学習などの良好な景観に関する意識啓発や知識の普及等を行っている優れた活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則1団体
- ② 優秀賞 ……数団体

3. 募集対象

小中学校等における景観まちづくり学習の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催や地域の景観に関する情報発信など、景観に関する教育、意識啓発、知識の普及等を地域に根差して行っており、その取り組みが地域の人々の景観への意識・関心の高揚につながっている優れた活動を対象とします。

4. 応募者の資格

景観教育や景観まちづくりに関する意識啓発を行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、これらの団体を支援している地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を3年以上継続して実施している団体とします。

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。

6. 審査委員

委員長	小澤紀美子	東京学芸大学名誉教授
委員	卯月 盛夫	早稲田大学教授
	大道 博敏	江戸川区平井西小学校主幹
	福井 恒明	法政大学教授
	国土交通省	都市局公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、平成27年5月現在)

III. 景観づくり活動部門について

1. 表彰目的

都市景観大賞「景観づくり活動部門」は、市民が主役の景観づくり活動等、景観法や景観に関連する制度（以下「景観制度」という。）を活用した優れた取組を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。

2. 表彰内容

- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則1取組
- ② 優秀賞 ……数取組

3. 募集対象

次の1)又は2)の取組を対象とします。

- 1) 景観法に基づく優れた取組であって、その取組が良好な景観形成に対して顕著な効果が発現しているもの、又は将来において顕著な効果発現が期待でき、現にその一部が発現しているもの。
- 2) 景観制度を活用した優れた取組であって、地域の人々の景観への意識向上につながっているもの。

4. 応募者の資格

応募者の資格は、次の1)～3)のいずれかを満たしており、景観制度の活用開始後、原則3年以上経過している取組に係る団体とします。

- 1) 景観制度を活用した景観行政団体又は景観整備機構、景観協議会
- 2) 景観協定締結や景観計画提案、景観重要建造物の保存管理活動等を実施又は支援したまちづくり組織、市民団体その他の団体
- 3) 景観制度を活用し、地域の人々の景観への意識向上につながっている優れた取組を行っている団体

5. 審査

「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地ヒアリング）した上で、表彰取組を選定します。

6. 審査委員

委員長	卯月 盛夫	早稲田大学 教授
委員	池邊このみ	千葉大学大学院 教授
	北村 喜宣	上智大学法科大学院長
	小浦 久子	神戸芸術工科大学 教授
	清水 千弘	シンガポール国立大学 教授
	出口 敦	東京大学大学院 教授
	西山 徳明	北海道大学 教授
	福井 恒明	法政大学 教授
	山畑 信博	東北芸術工科大学 教授
	国土交通省	都市局 公園緑地・景観課長

(順不同、敬称略、平成27年5月現在)